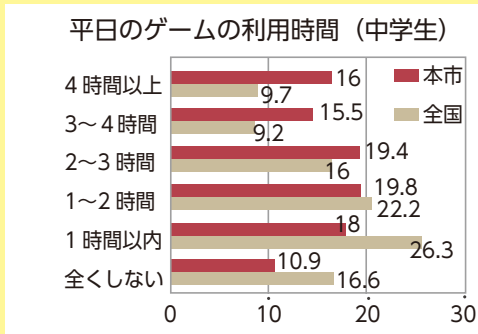
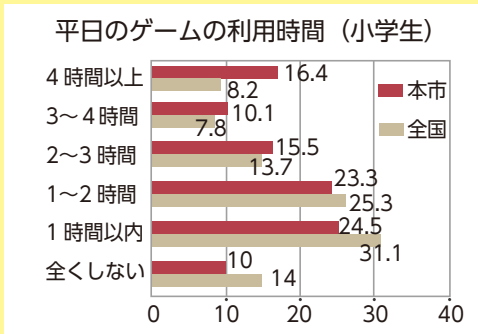


改善に向けて 家庭で取り組みを

テレビなどの視聴時間、ゲームの利用時間の見直し

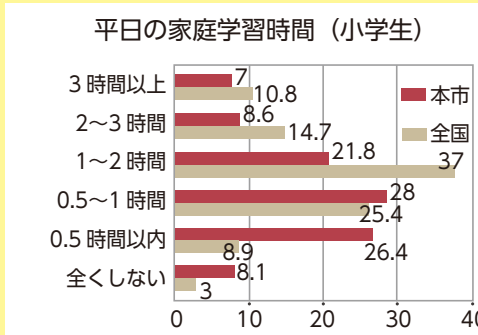
本市の分析では、テレビなどの視聴時間やゲームの利用時間が少ない方が、教科の平均正答率が高いという結果が見られます。本市の児童・生徒は、平日2時間以上の視聴・利用をしている割合が、依然として全国を上回っています。中学生は、平日の就寝時刻が遅い傾向があります。成長期を健康に過ごすためにも、睡眠時間を確保することは大切です。学習や健康に悪影響を及ぼさない適切な利用について、確認や見直しをお願いします。

単位：％



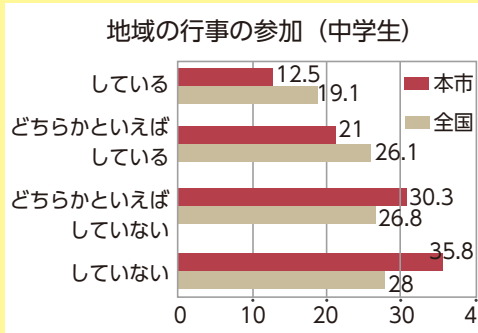
家庭学習の充実

平日1時間以上の家庭学習をする児童は、全国をかなり下回っています。家庭での時間の使い方を見直し、自分で学習の計画を立て取り組んだり、授業の復習をしたりするよう、温かい言葉掛けや励まし、見守りをお願いします。



地域社会への関心や参加

地域の問題や出来事に関心を持つこと、地域の行事やボランティア活動に参加することは、変化の激しいこれからの社会で働く力をつけるためにも大切です。ぜひ、家庭でも話題に取り上げ、参加の機会を作るようお願いします。



市教育大綱の「5つの方針」 28年度の主な取り組み

① 自ら学ぶ力を育みます！

●あやせ学びづくり運動

学校では、校内研究をとおして授業改善に取り組み、学び意欲の向上を目指しています。教育委員会で作成した「家庭学習の手引き（教職員用リーフレット）」を活用して、家庭学習を充実させる組織的な取り組みを行っています。



② 豊かな心を育みます！

●スクールカウンセラー（SC）の充実とスクールソーシャルワーカー（SSW）の配置

心理や福祉などの分野で専門的知識・技能を有するSCやSSWを配置し、多様化・複雑化する課題の改善や解決を図っています。28年度はSCを市内全小学校に週1回配置するとともに、県派遣のSSWを活用し、全小・中学校のケースに対応しました。



③ 健やかな体を育みます！

●スポーツ行事の開催

スポーツに親しむ機会と成果発表の場を提供し、競技・生涯スポーツの推進を図っています。28年度は、市総合スポーツ大会、市民スポーツフェスティバル、市駅伝競走大会を開催しました。3月には、あやせ健康ファミリーマラソン大会の開催を予定しています。



④ 教育環境を充実します！

●小・中学校のICT（情報通信技術）化と情報教育の推進

社会の急速な情報化に対応するため、児童・生徒の確かな学力の向上と情報活用能力の育成が図られるよう、パソコンやプロジェクターなどICT機器を整備するとともに、教職員の研修を行っています。28年度は、中学校の教科書改訂に伴うデジタル教科書の更新、教職員に対するICT活用に関する研修講座と公開授業を実施しました。



⑤ 家庭の教育力向上に向け支援します！

●あやせゼロの日運動

28年度は市内保育所・幼稚園と連携し、絵本貸し出し事業を実施しました。園へ配付した貸し出し用絵本を活用することで、家庭や園内での読み聞かせを推進し、子どもが絵本とふれあう環境を整備しました。

特集 綾瀬の教育

生きる力を支える

市教育委員会の取り組み

市教育委員会では、教育振興基本計画に基づき、「生きる力」を支える、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育むことを目指し、学校、家庭、地域で協力しながらさまざまな施策に取り組んでいます。昨年11月には、市教育大綱が改定され「自分らしく学び続ける」という新たな基本理念の下「生きる力を身に付ける」を目標として、5つの方針が示され、その実現に向け、引き続き具体的な施策を実行していくことを再確認しました。5つの方針に関連する主な取り組みを紹介いたします。

学校、家庭、地域の連携で 子どもの「豊かな心」を育む



近年、子どもたちのいじめ問題や自殺、障がい者への偏見といった人権に関わる事件が発生し、社会問題になっていきます。綾瀬の子どもたちにとっても例外ではなく、ソーシャルネットワークウィングサービス（SNS）を使用したいじめなども発生しています。市教育委員会では、「確かな学力」の定着を推進するとともに、「豊かな心」の育成に取り組んでいます。子どもたちが「豊かな心」を持ち、夢や希望を持つための明るい社会の

一員として成長できるよう、学校、家庭、地域が連携して、取り組むことが大切です。

「特別の教科 道徳」を新設 30年度開始に向け進む準備

学校では「豊かな心」を育むために道徳教育を行っています。各教科、学級活動、学校行事など全ての活動をとおして行っています。要となるのが「道徳」の時間です。「道徳」は、小学校が30年度、中学校は31年度から「特別の教科 道徳」として教科化されます。

学校では、友達の考えを聞き、自分の考えをつなげて表現したり、みんなで協力しながら課題を追求したりといった授業も行っています。確かな学力の要素である、思考力、判断力、表現力などを高めるための活動です。協働で行う授業などを進めるには、自分とは違う他人の考えを受け入れ、間違えても大丈夫という温かい雰囲気のある学級であることが望まれます。

「特別の教科 道徳」では、より質の高い指導方法と評価の工夫・改善が求められています。これまではなかった教科書を使い、評価も行われます。評価は数値ではなく、学習活動における児童・生徒の道徳性の高まりを文章で記述することになる見込みです。

これまで、心の教育推進事業の一環として、地域の人物を題材とした道徳自作資料の作成や、道徳の公開授業をとおした指導力の向上を目指す研修会の開催など、授業の改善に取り組んできました。今年度は、

は、次の項目において、良好な結果が見られました。
▽朝食を毎日食べること
▽将来の夢や目標を持つこと
▽物事を最後までやり遂げてうれしかったことがあること
▽いじめはどんな理由があってもいけなないと思っていること
▽学校に楽しく通うこと
▽友達に会うのが楽しいと感じていること
▽友達との約束を守ること
▽図教育研究所 ☎70・5659。

声掛けなどのふれあいが 学力向上や人間性を育成

教科化に向け、教員の指導力を一層向上させるため、国の「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」を活用し、研修会や校内研修会に、文部科学省の調査官や大学教授を講師に招き、これからの授業に求められる指導のあり方を学びました。

教職員や家庭以外の大人から学ぶことは、子どもたちにとって貴重な機会であり、学ぶ意欲が向上し、知識の定着や思考力、判断力、表現力などの向上につながります。子どもたちの確かな学力の向上や豊かな人間性の育成のために、地域の子どものあひだの温かい声掛けやふれあいを大切に、「あやせ」の成長をみんなで支える取り組みに協力ををお願いします。

図教育指導課 ☎70・5660。

携帯電話の使い方を議論 あやせっ子サミット開催



昨年12月22日、市役所で市内全中学校の生徒会本部役員が集まり、「あやせっ子サミット」を開催しました。市PTA連絡協議会と市教育委員会が協力して実施している「あやせ携帯電話夜間ゼロ運動」に関する各校の取り組みを発表するとともに、意見交換を行いました。

選ばれた標語

- ・ケータイを 楽しく使おう 守ルール
 - ・ケータイで あなたの心は うまらない
 - ・LINEより 直接話そう ほんとの気持ち
 - ・悪口は 相手にしない 言わせとけ
 - ・気をつけよう 誘惑つまった うすい板
- ※多数の標語から5つが選ばれました

各中学校では、同運動の実施を受けて、生徒会本部役員を中心に、携帯電話などの使い方を主体的に考える、アンケート調査を行っています。同サミットは、SNSを中心に、いじめや不適切な投稿などネットの世界に潜む危険性などについて、生徒自身が自分たちの問題として考え、議論する初めての試みとなりました。サミットの最後に市内中学校共通の標語を、参加した生徒たちで考え選び、選ばれた標語は、各校に持ち帰り、周知することを決定しました。大人が決めたルールに従うだけでなく、自分たちのために自分たちで考え行動する子どもたちに成長して欲しいことは、学校、家庭、地域の共通の願いではないでしょうか。

図教育指導課 ☎70・5660。

家族での読書や団らんを

あやせゼロの日運動

毎月ゼロのつく日に、テレビやゲームをひと休みして家族で読書をしたり団らんのひとときを過ごしたりする「あやせゼロの日運動」を実施しています。



読書は、言葉を理解する力や読解力を付けるだけでなく、子どもたちの想像力を豊かにしてくれます。家族とのふれあいは、子どもたちの心の安定や自己肯定感、自己有用感を高めることにつながります。子どもたちを励まし、愛情あふれる言葉を掛けるとともに、子どもたちの心を成長させるひとときを過ごしてみたいかがでしょうか。

図生涯学習課 ☎70・5658。